

おやまの歴史薫る豊門公園で 秋の芸術鑑賞♪



9月定例会

- 令和3年度決算 各会計決算を認定** … 2
- ・一般会計補正予算(第5～6号)を可決 …… 4
- ・各常任委員会で決算等をチェック …… 5
- ・代表質問・一般質問に10人が登壇 …… 6
- ・第6回「わたしのベストスポット」 …… 16

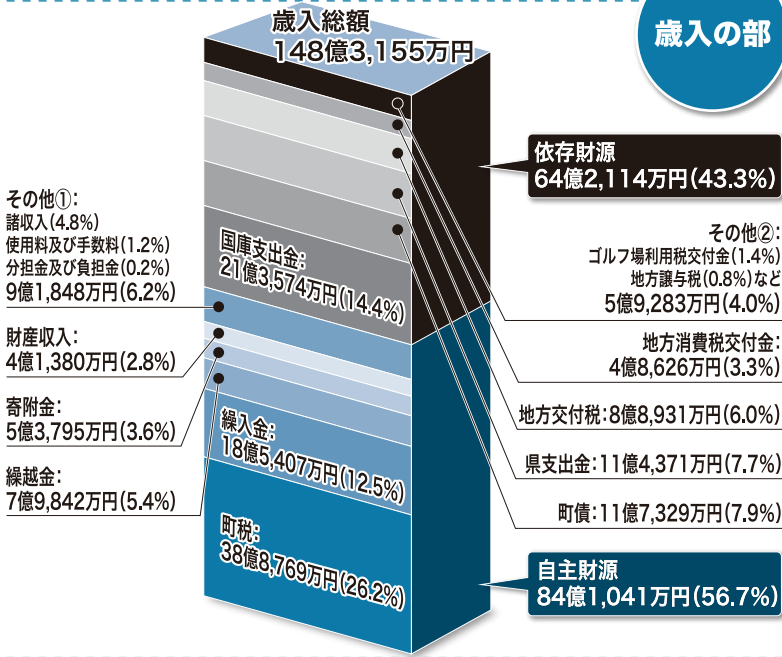
第4回 9月定例会

令和4年9月定例会が8月29日から9月22日までの25日間の会期で開かれました。

令和3年度各会計決算の認定13件、令和4年度各会計補正予算13件、条例の制定・一部改正4件、同意2件、町道の変更1件、工事請負契約の締結1件、報告2件等の合計37議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり可決・認定しました。

総額199億円 単年度収支額2億7,153万円黒字

一般会計歳入の総額は148億3,155万円で、前年度よりも15億6,782万円(9.6%)減少。



■決算の概要

- 一般会計と特別会計を合わせた決算総額は、歳入199億3,665万円、歳出186億3,947万円となり、差引額は12億9,718万円となりました。
- 一般会計の実質収支額は5億3,234万円、単年度収支額は2億7,153万円の黒字となりました。
- 町債の現在高は134億3,277万円となり、前年度比で2億9,004万円増加しています。

■令和3年度 会計別決算額 (1万円未満は切り捨てて表記しています)

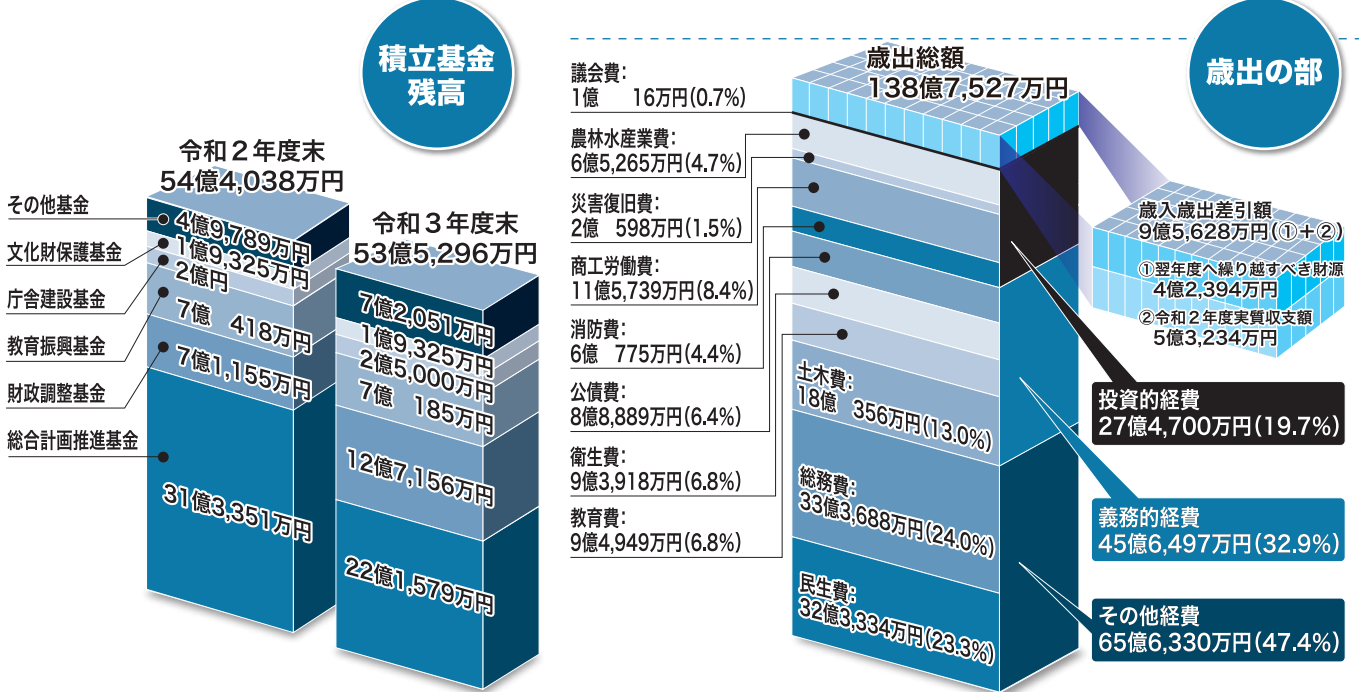
会計名	収入済額	対前年度比	支出済額	対前年度比
一般会計	148億3,155万円	15億6,781万円 減	138億7,527万円	17億2,566万円 減
国民健康保険	20億2,872万円	5,414万円 増	19億2,460万円	9,783万円 増
後期高齢者医療	2億4,805万円	111万円 減	2億4,749万円	511万円 増
介護保険	20億6,710万円	2,430万円 増	19億1,163万円	2,099万円 増
育英奨学資金	618万円	53万円 増	443万円	27万円 増
宅地造成	1億8,450万円	447万円 減	1億 535万円	64万円 増
土地取得	22万円	1万円 増	22万円	3万円 増
上野工業団地	5,162万円	4,138万円 減	4,851万円	2,560万円 減
木質バイオマス発電	1億7,781万円	1億6,314万円 増	2億 346万円	1億6,405万円 増
小山PA周辺開発	7,877万円	1億4,585万円 減	7,856万円	1億4,588万円 減
温泉供給	335万円	1万円 減	30万円	9万円 減
下水道	2億5,874万円	4,088万円 増	2億3,957万円	2,616万円 増
水道(収益的)	3億2,708万円	511万円 増	3億1,734万円	2,249万円 増
水道(資本的)	2億3,759万円	4,156万円 増	3億7,736万円	9,227万円 増

令和3年度
決算を認定

一般会計・特別会計

一般会計 歳入148億円で前年比9.6%減少

一般会計歳出の総額は138億7,527万円で、前年度よりも17億2,567万円(11.1%)減少。



■主要財務比率等

財政力指数は0.834(前年度比0.06減少)、経常収支比率は77.7%(前年度比12.5%減少)、実質公債比率8.8%(前年度比0.8%上昇)となりました。

- ・財政力指数…財政力を判断する指標で1以上は国からの地方交付税がなくなる。
- ・経常収支比率…財政構造の弾力性を判断する指標で70~80%程度に収まるのが妥当とされている。
- ・実質公債比率…標準財政規模に対する借金返済相当額の割合。

反対討論 藺田 豊造

一般会計

委託料の法律事務相談が増額したにもかかわらず、新産業集積エリアの廃棄物処理について、町民の利益にかなわぬ結論となったことから、これらの支払いは町長の私的なものと断言する。

木質バイオマス発電事業

赤字体質にメスを入れず、漫然と事業を継続している経営姿勢に憤りを覚える。

町民の福利向上に役立っている形跡は未だ見られない。

賛成多数で認定

国民健康保険特別会計、ほか11会計は、審議の結果、**全員賛成で認定**。

賛成多数で認定

業特別会計は、審議の結果、**賛成多数で認定**。

木質バイオマス発電事業特別会計は、審議の結果、**賛成多数で認定**。

特別会計歳入歳出決算に関して、各常任委員会へ付託後、審議の結果、**賛成多数で認定**。

一般会計・特別会計12会計の決算を認定

一般会計歳入歳出決算に関して、各常任委員会へ付託後、審議の結果、**賛成多数で認定**。

審査意見

新型コロナウイルス感染症の収束が不透明な状況において、業務継続計画に関して、事務事業の執行体制が確保されていることを確認されたい。

また予算執行の確かな把握、適正な予算執行に留意し、職員間の情報共有を図り、事務事業の執行及び管理運営に当たってほしい。

審査結果

予算執行は、議決の趣旨に沿い、おおむね適正に執行されているが、歳入における滞納額について、時効期限までに、計画的、継続的な収納措置を要望する。

また水道事業及び木質バイオマス発電事業における経営の健全化に取り組むことを要望する。

住民福祉の増進を

監査委員から報告

決算審査意見書の報告が池谷浩代表監査委員からあった。主な内容は次のとおり。

令和4年度一般会計補正予算
(第5号・第6号) 可決
予算総額134億円に

一般会計
補正予算(第5号)

新型コロナウイルスワクチンの4回目接種や、肥料等の価格高騰対策として町内の農業者支援を実施する補正予算。

既定の予算に5億6894万7000円を追加し、総額を2884万6000円とし、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正をする内容で、各常任委員会へ付託後、審議の結果、

全員賛成で可決。

歳入の主なもの

地方交付税
1億8185万円の増額
国からの交付額が決定。

新型コロナウイルス感染症
対応地方創生臨時交付金
3486万円の増額
国からの交付金。

繰越金

4億3233万円の増額
前年度決算額の確定。

土木債

1580万円の増額
公共道路整備事業における対象事業の精査によるもの。

臨時財政対策債

6407万円の減額
発行可能額の確定。

基金管理費

2億9364万円の増額
財政調整基金8000万円、総合計画推進基金8100万円、公共施設等総合管理基金8500万円などを積立。

歳出の主なもの

こども園整備事業費

2200万円の増額
すばしりこども園整備事業に伴う外構舗装工事。

農業振興費

1633万円の増額
肥料等の価格高騰により、経費負担や経営状況の悪化が予想される農業者に対する補助金。

公共施設地区対応事業費

2500万円の増額

町道の損傷補修を推進し事故等を未然に防ぐ。

町道整備事業費

5200万円の増額
町道一色中日向線の交差点改良を実施。

河川施設災害復旧費

1044万円の減額
湯船排水路災害復旧事業における未清算分償還金の確定に伴う減額。

補正予算(第6号)

新型コロナウイルスのオミクロン株対応ワクチン接種を開始するための補正予算。

既定の予算に3513万3000円を追加し、総額を134億6397万9000円とし、議会の最終日に提出され、審議の結果、

全員賛成で可決。

9 特別会計の補正予算

国民健康保険 ほか
主には、令和3年度決算で繰越額が確定したこ

とによる補正予算。それぞれの常任委員会へ付託後、審議の結果、すべて
全員賛成で可決。

水道事業会計

補正予算(第1号)

新東名高速道路本線工事との工程調整による負担金の減額や、小山PA周辺開発事業の進捗に伴う水道管布設替工事による増額が主なもので、資本的収入を821万2000円減額し、資本的支出を2756万9000円増額する内容で、総務建設委員会へ付託後、審議の結果、

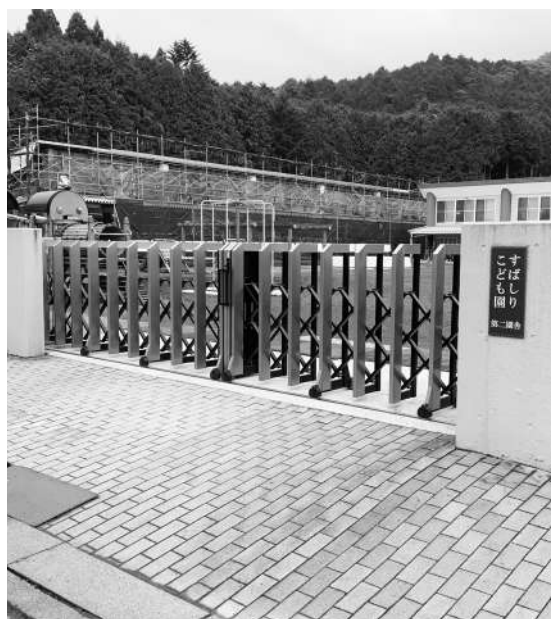
全員賛成で可決。

条例等

新規条例1件と一部改正3件、町道の変更1件などが提出され、それぞれの常任委員会へ付託後、審議の結果、すべて

全員賛成で可決。

小山町議会議員及び小山町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例
公職選挙法に基づき、



整備が進むすばしりこども園

小山町議会議員及び小山町長の選挙における選挙運動の公費負担に関し、必要な事項を定める条例。

全員賛成で可決。

町道用沢大御神線道路改良舗装工事の増額に伴う請負契約の締結

414万7000円増額し、契約額を9434万7000円とし、初日に審議の結果、

全員賛成で可決。

総合文化会館金太郎ホール屋根等改修工事請負契約の締結

金太郎ホールの雨漏りを防止するため屋根等の

小山町固定資産評価審査委員会委員の同意
引き続き、
湯山 正敏さん(明倫)の選任に同意。

小山町教育委員会委員の同意
令和7年9月30日まで新たに、
丹羽 千絵さん(足柄)の選任に同意。

常任委員会

報告

総務建設委員会

委員長 室伏 勉

総務建設委員会に付託された13議案と決算認定9件について、9月13日に審査を行い、原案のとおり可決・認定すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

一般会計補正予算 (第5号)

Q 新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金の具体的な使途は。

A 音声テキスト化システム導入事業、文化施設手洗い場自動水洗浄事業、体育施設手洗い場自動水洗浄事業、体育施設スマートフォンロック導入事業、電子決済対応デジタルシステム導入事業、肥料価格高騰対策事業、防犯灯維持交付金の上乗せ分、観光施設電子決済導入事業、足柄地区コミュニティ共用施設web会議環境整備事業、タブレット端末フィラリングソフト設定更新に充当しました。



八重桐の池周辺の治山工事予定箇所

一般会計 歳入歳出決算

Q 光ファイバー網整備事業補助金の内容と、これにより町内の光ファイバー網は完了か。

A 須走地区の紅富台エリアを対象とし民設民営方式で整備したもので、国庫補助金、町補助金、事業者負担により実施され、これにより町内の未

整備エリアはほぼ解消しました。

Q 駿河小山駅周辺地区の進行状況は。

A 公民連携ガイドラインに基づき民間の提案を求めている状況で、今現在、具体的な提案がないので、町で具体的な提案を検討しています。

木質バイオマス 発電事業特別会計 歳入歳出決算

Q 灰はどのように処理しているか。灰を売るなどの工夫は。

A ペレットを納入している事業所で無償で処理しています。森林や畑に撒くという案もありましたが、調査の結果、活用が難しいという状況です。

Q 赤字が続くこの事業をどのようにしていくか。

A 暫定再稼働後の売電収入は良好な状況です。今後、隣接地に施設ができ売熱が始まると、赤字がだいぶ解消されていくと推測しています。

文教厚生委員会

委員長 室伏 辰彦

文教厚生委員会に付託された5議案と決算認定5件について、9月15日に審査を行い、原案のとおり可決・認定すべきものとしました。主な内容は次のとおり。

一般会計補正予算 (第5号)

Q こども園の園舎外構等整備の詳細は。

A しばしりこども園の外倉庫の新設、うさぎ小屋の改修、遊具の移設、既設園舎裏の舗装工事等です。

一般会計 歳入歳出決算

Q 肺炎球菌ワクチンの接種状況や周知方法は。

A 接種率は22・3%となっており、対象者への個人通知や、町のホームページ等でお知らせしています。

Q 不妊・不育症治療費助成額が昨年より2倍に増えているが、その理由や治療内容、その成果は。

A 増えた理由は、申請者が14組から25組に増えたことによるものです。治療内容は、一般不妊治

少上がったと考えています。

介護保険特別会計 歳入歳出決算

Q 国では施設介護から在宅介護へシフトしているとのことだが、町では施設介護のウェイトが大きいと感じるが。

A 町では、なるべく自立した生活ができるように、介護予防に力を入れています。

Q 消防水利の点検で不具合はあったのか。

A 町内にある公設の防火水槽、消火栓をすべて点検しています。防火水槽のバルブから水漏れがあり、緊急修繕しました。

国民健康保険特別 会計歳入歳出決算

Q 特定健康診査の未受診者への対応は。

A 未受診者対策として、AIを活用し、受診パターンにより分類して、内容を変えた通知を送ることにし、受診率は多



文化財の保存状況について説明を受ける

一般質問に10人が登壇

町政のここを問う



鈴木 豊
(新生会)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



代表質問 (一括)



竹之下のリバーガーデンタウン推進区域

池谷町長の次期小山町長選挙の出馬は！ 町長選出馬に向け準備を進めます

Q 池谷町長は、平成31年4月の選挙において、「住民幸福度日本一の町の実現に向け」を掲げて初当選されて以来、コロナなど様々な困難があったが事業展開されてきた。今後の小山町の将来について、期待と課題は多々あると思う。町長は、町の舵取りの船長でもあり、小山町の行き先の方角を

Q 間違つてはいけない。町長の任期が来年4月で終わるが、1期4年を振り返ると共に次期小山町長選挙への出馬について、町長の考えを伺う。

A 町長

第30代小山町長に就任以来、ふるさと納税への復帰、都市計画税問題、令和元年台風19号災害、湯船原新産業集積エリア

の廃棄物処理、新型コロナウイルス感染症拡大などの様々な問題へ対応をしました。特に、東京2020オリパラ自転車競技ロードを本町で無事開催できたことは、町の歴史に深く刻まれ、町民の心に永遠に残るレガシーとなったと思います。また、8つの柱55項目からなる私の政策提言の

進捗については、着手・取組中、完了済が約96%になりました。着手した各種施策は順調に推移していますが、町民の幸福度日本一を目指すためには、もう少し時間が必要ですので、次期町長選挙へ向けて準備を進めます。

小山町の居住環境の施策は！ 居住物件確保と生活利便性向上を総合的に進めます

Q 企業誘致が進み、雇用が増加する中で、居住環境の遅れが目に見えていると考える。御殿場市など近隣市町へ居住すると危惧されるが、居住環境の進め方について伺う。

Q 企業従業員の居住確保は、民間アパートの改修補助と新築応援による物件確保、地域の生活利便性の向上、空き地等の有効活用による民間開発の誘発を、総合的に実行します。

Q リバーガーデンタウンおやまについて、竹之下など進まないが、事業をどうして行くか。

Q 町としてどのような居住環境の施策か！

A 町長

A 町長

魅力ある宅地創出の実現に向け、民間から提案を募集し公民連携で取り組めます。

Q 民間活力というが、行政も中に入って進むべきと思うが考えは。

A 町長

民間活力の發揮には、行政と民間との明確な役割分担が必要です。民間

対話を通じ、町は必要となる環境整備を行います。

Q 町営住宅の解体後の跡地を宅地分譲などに進める考えは。

A 町長

民間事業者への売却を含め、住環境整備につながる町有地の有効活用を検討します。

代表質問 (一括)



室伏 辰彦
(会派 令明)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



将来の小・中学校はどうか？

Q 将来の小・中学校の在り方は A 現状の維持が可能な方法を模索していきます

小山町では、この3年間子どもの出生数は100名程度であり、今後さらに減少が見込まれる。

中学校を維持することが可能な方法を模索していきます。今後、総合教育会議の場等で検討を行う必要があると考えます。

あります。デメリットは、人間関係が固定化されることなどです。

研究することから始めていきます。

町長は、公立小中学校の現状把握と将来像について、どのような考えを持っているのか。

小規模校のメリットとデメリットは何か。

10年後の学校体制はどのように考えているのか。

地域と連携した特色のある教育についてはどのように進めているのか。

町長

小・中学校は地域コミュニティの拠点となっているため、現在の8つの小

教育長

メリットは、一人一人の学習状況などを的確に把握し、きめ細かな指導が行いやすいことなどが

教育長

10年後の学校の姿を最初から描いて進めるのではなく、子どもたちにとってよりよい教育環境はどのような姿なのかを調査

教育長

中学生ボランティアや金太郎博士事業等の推進により、子どもたちの豊かな心と郷土愛などが育まれ、社会的・職業的自立につながると考えます。

Q 地域資源を活用した観光交流の振興について A 観光客の受入環境を整えていきます

今後の観光の推進などから、都市計画道路(竹之下中島線)の早期実現が必要だと思いが見直しの検討を含め町の考えを伺う。

町長

町内の交通形態を踏まえた上で、都市計画道路の見直しを検討していきます。

の方の協力でガイド養成講座の開催の進捗状況はどうか。

教育委員会と連携し、関係団体と一体となって適切に管理していきます。

町長

観光協会と協力して観光ガイド養成講座を行い、ガイドツアーのパッケージ化等につなげていきたいと考えています。

遊女の滝の状況と復旧の見込み、金時公園の金太郎看板の修繕の見込みは。

観光交流している勝央町や福知山市と、この3年間の交流実績と今後の連携は。

町長

町長

町長

観光ガイドをしてい

町のシンボル金太郎の名所の管理と保存はど

町長

町長



成美地区の5か所を回る移動販売車

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



高畑 博行

Q 移動販売事業に町は支援できないか A 町の参画を社会福祉協議会や富岳会と検討します

社会福祉協議会と富岳会の協働事業として成美地区5か所で移動販売事業をしている。買い物難民防止策に向けたこの事業に特化した補助金等の支援ができないものか伺う。

うに、補助金支援はできないか。

A 町長

この事業は、富岳会と社会福祉協議会の社会福祉法人による地域貢献活動として行われ、採算のとれた事業展開がされていると聞いています。現時点では補助金の支援は考えていませんが、今後

必要があれば検討していきます。

町では、先日移動販売の現場を見学し、富岳会と社会福祉協議会の担当者から説明を受けました。今後も話し合いの機会を設け、課題があれば解決に向けて検討していきま

す。

Q 町もこの協働事業にオブザーバー的立場でもいいので参画できないか。

A 福祉長寿課長

町では、先日移動販売の現場を見学し、富岳会と社会福祉協議会の担当者から説明を受けました。今後も話し合いの機会を設け、課題があれば解決に向けて検討していきま

Q 道の駅ふじおやまの駐車場の拡張はできないか A 道の駅ふじおやまの駐車場の確保と生活利便性向上を総合的に進めます

最近、道の駅ふじおやまの駐車場の混雑ぶりがひどく、全く駐車スペースがないケースも多々ある。そこで、駐車場拡張の展望に関して伺う。

を図りながら、事業の実現に向けて取り組みます。

Q

道の駅ふじおやまがこれだけ人気を博している要因は何だと考えているか。

A 経済産業スポーツ部長

国道246号沿線であるという道の駅であるという地の利に加え、指定管理者と農産物出荷組合が連携し双方の努力が身を結

んでいるものと評価しています。また、平成28年度からふじあぎみを一体活用し、指定管理者による売場や施設のリニューアル、レストランの拡張、ふじあぎみの改修を実施し、利用者のニーズに沿ったことも、寄与していると考えています。

ないのか。立体駐車場の考えはないか。

A 都市基盤部長

立体駐車場という提案があったことを国土交通省に伝えます。

そのほかに「デマンドバスの利用者急上昇について」を質問しました。

Q 所管である国土交通省と交渉し、駐車場拡張を交渉のテーブルに乗せられないか。

A 都市基盤部長

今後も国と密接に連携

今後は国と密接に連携

Q 駐車場拡張は下の田んぼを候補地とするしか

一般質問
(一括)



佐藤 省三
(会派 令明)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



中学校の部活動(公式戦)

Q 学校教育の制度変更などに備えた準備状況と課題は A 本町の状況に即した対応を進めます

小山町では、コロナ感

染症対応等による子ども

たちへの影響、ヤングケ

アラーの実態把握と対応、

一人一台貸与されたタブ

レット活用や、デジタル

教科書への対応による学

校のICT化、小学校高

学年の教科担任制への移

行、中学校部活動の土日

の地域移行などそれぞれ

の課題について現状をど

のように把握し、対処し

ようとしているか伺う。

Q コロナ禍による子ど

もたちの学力、体力、意

欲等への影響は。

A 教育長

コロナ禍の影響がある

のか、今後も児童・生徒

の様子を注意深く観察し

ていきます。

Q ヤングケアラーにつ

いて、静岡県の実態調査

による町内の実態とその

対応は。

A 教育長

県内の小学校5・6年

生、全中学生及び全高校

生で、「家族の中にあな

たがケア、お世話してい

る人はいますか」の問い

に対して、「いる」と答え

た子どもの割合は、県全

体で4・6%で、本町で

は8・6%でした。今後

も関係機関と連携して対

処していきます。

Q タブレットの活用状

況及び町内での課題は。

A 教育長

小・中学校とも多くの

教科で活用しています。

Q 小学校高学年の教科

担任制への移行について、

町内での課題は。

A 教育長

町内の小学校は小規模

校がほとんどであるため、

教員の加配がないと教科

担任制は厳しい状況です。

Q デジタル教科書のメ

リット、デメリットと、

町内での活用方針は。

A 教育長

デジタル教科書は、動

画・資料の提示や拡大機

能など視覚的支援となり、

学習の手助けにつながり

ます。個人でも全体でも

利用できるため、学習場

面で活動の幅を広げるこ

とができます。デメリッ

トは、じっくり文章を読

み、内容を深く理解する

ような学習では、紙の教

科書の方が有効であると

いう研究者の意見もある

ことです。また、通信障

害などの回線トラブルが

あると使えないこともあ

ります。今後、研修会等

の機会を設け、実践事例

を町全体に広げていきま

す。

Q 中学校の部活動の土

日の地域移行について、

小山町の実態と対応は。

A 教育長

小山中学校では、9つ

の運動部と1つの文化部

と1つの総合部、北郷中

学校では、7つの運動部

と1つの総合文化部、須

走中学校では、5つの運

動部と1つの総合部を設

置しています。すぐに地

域移行を進めるというよ

りは、まずは、合同部活

動が可能な競技種目は何

かを検討し、実施してい

くことにより、次第に規

模を拡大し、学校と地域

の団体などの連携・協

働を進めていきたいと考

えています。

一般質問 (一括)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



岩田 治和



御殿場市でもデジタル地域通貨が運用されている

A Q 地域通貨の導入はできないか 町の实情にあった検討を継続します

すでに、全国の多くの自治体で導入され身近なツールとして普及し始め、近年は若者を中心にスマートフォンやクレジットカード等による決済を行う数も多くなり、現金を持たない社会に移行しつつある。

電子マネー化され利用可能な場所と期間が限定されてはいる。自治体が5〜10%程の助成をすることで地元の消費が活発となり、地域に循環し、お金の地産地消として高く評価されている。

本町の買い物動向をみると、町内で消費することとは少なく近隣の市町の大型店などに行き、旧来の商店街は衰退し廃業に追い込まれる傾向と見受けられる。

また、自治体側においても、サービス利用券などを代替させることで行政コストを削減できるほか、ボランティア活動や健康促進活動に結び付けポイントを付与するなど、住民サービスにつながり、地域コミュニティの活性化、円滑化になることと思われる。

ここ数年、コロナ禍にあることから国の制度としてプレミアム付商品券(地域振興券)の発行が行われ、割安感が多いことから住民も加盟店も好評を得ている。しかし、この制度も一時的な処置であり継続的なものではない。

Q 地域通貨の導入は今後の地域振興とまちづくりに必要と考えるが、導入の可否について答弁を求める。

一般的に、地域通貨は

A 町長
キャッシュレス決済に

対応する地域通貨は全国に先行事例があり、本町でも検討を進めています。以前に小山町商工会が検討を重ねましたが、ポイント還元に伴う事業者の経費負担の課題等により、実施に至っていません。

町が地域通貨を導入するには、プレミアム分の付与といった経済対策の観点だけでなく、町のイベントや健康増進活動への町民参加を促すことなども重要であるため、独自のプラットフォームの整備が必要になり、多額の導入経費の発生が懸念されます。そのため、

給付や民間キャッシュレス決済サービスとの連携が可能となるなどメリットが大きいと思います。国の制度構築が遅れており、具体的な検討に至っていませんが、国の動向を注視しながら、先行事例や優良事例等の調査研究を継続します。

国の展開する自治体マイナポイント事業を活用することが有効と考えています。この事業の活用により、マイナンバーカードの普及促進に加え、本人確認機能を利用した正確で重複のないポイント

領域通貨をもたらずメリットは経済面のみではありませんが、近隣自治体と比較すると町内のみの商圏では町民がメリットを感じづらい側面は否定できません。町民が享受するメリットを最大とするためにも、実際に地域通貨を使用する場となる町内事業者の協力を得ながら町の实情に合った地域通貨の導入について引き続き検討を継続します。



老朽化が進んでいる町営住宅

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



小林 千江子
(新生会)

Q 耐用年数超過や耐震のない町営住宅の課題と今後は A 民間連携を強化し、ニーズに応えられる施策を検討します

町営住宅とは、住宅に困っている低額所得者の方

① 全体の約4割が入居困難な政策空き家となり、

どのように受け止め、対応するべきと考えるのか

用途廃止した団地から解体工事を進めていきます。

生活ができるよう、町が国から補助を受け、公営住宅法に基づき整備した住宅であり、一般の家賃と比較し、相当低額の家賃で入居できる住宅である。

② 定期点検も役場職員と委託先が目視しかしていない中で、居住する住民の安全性と適正戸数への具体的な施策を伺う。

③ 収入超過者に対する対応は、明け渡しに対する働きかけについて機会を捉えて文書を直接手渡ししたり、郵送により通知したりしています。

④ 用途廃止に伴う転居に対し、家賃の負担軽減措置を検討すべきと考察するが、当局の考えを伺う。

⑤ 小山町においても、戦後の住宅不足から、多くの町営住宅が建設され、現在町が管理している町営住宅の戸数は384戸であり、県平均保有率が1.6%とする中、小山町は5.1%と高い数値を有している。しかもその内215戸が耐用年数を超過し、内129戸に

⑥ 町営住宅利用者全体の1割が収入超過者と高所得者の方々で占められている。町営住宅は住宅に困窮する低額所得者に対し、低廉な家賃で賃貸することを目的としている中、町はこの状況

⑦ 都市基盤部長

⑧ 都市整備課長

関しては耐用年数を20年以上も超過しているにもかかわらず、未だ人が住まわれ利用している状況である。

⑨ 町営住宅等長寿命化計画に定めています。町営住宅の安全性については、耐用年数を超えた町営住宅に対して更なる点検を検討していきます。

⑩ 9団地中6団地が借地で、年間約950万円あまりを投じている中、沼団地は町の長寿命化計画においても建替・用途廃止が判定されている物件である。一日も早く住民の集約化を図り団地を解体するべきと考えるが町の計画を問う。

⑪ そのほかに「町内新規就業者の住宅対策について」を質問しました。

⑫ 町営住宅の利用者全体

⑬ 都市基盤部長

⑭ 都市基盤部長

⑮ 都市整備課長

⑯ 町営住宅の利用者全体

⑰ 都市基盤部長

⑱ 都市基盤部長

⑲ 都市整備課長

⑳ 町営住宅の利用者全体

㉑ 都市基盤部長

㉒ 都市基盤部長

㉓ 都市整備課長

㉔ 町営住宅の利用者全体

㉕ 都市基盤部長

㉖ 都市基盤部長

㉗ 都市整備課長

㉘ 町営住宅の利用者全体

㉙ 都市基盤部長

㉚ 都市基盤部長

㉛ 都市整備課長

㉜ 町営住宅の利用者全体

㉝ 都市基盤部長

㉞ 都市基盤部長

㉟ 都市整備課長

㊱ 町営住宅の利用者全体

㊲ 都市基盤部長

㊳ 都市基盤部長

㊴ 都市整備課長

㊵ 町営住宅の利用者全体

㊶ 都市基盤部長

㊷ 都市基盤部長

㊸ 都市整備課長

㊹ 町営住宅の利用者全体

㊺ 都市基盤部長

㊻ 都市基盤部長

㊼ 都市整備課長

一般質問 (一括)



渡辺 悦郎
(会派 令明)

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



サイクルツーリズムの拠点「フジサイクルゲート」

Q あしがら温泉の改修と指定管理の状況は A 指定管理者への移行を進めます

Q 現在は指定管理から直営になり営業している。昨年は大規模修繕を実施し、今年度も4か月にわたる大改修を実施することである。

A いても進めていくとの説明であったが未だ動きがない。

今回の大改修は当初から計画されていたのか。昨年の大修繕の時に一緒にできなかったのか。直営当初から指定管理について伺う。

A 町民憩いの家としての機能を充実し、町民の憩いの場として機能を回復するため指定管理の進め方について伺う。

町民憩いの家としての機能を充実し、町民の憩いの場として機能を回復するため指定管理の進め方について伺う。

A コロナ禍や、ロシアのウクライナ侵攻による燃料・各種資材の高騰により、あまりにも不確定要素が多いことから、施設の収支バランス想定をはじめ、指定管理者の募集要項を定めることが困難でありました。

ポストコロナの人流動向や経済情勢等を見極めるためにも、直営により収支バランスも見えてき

たことから、今年度は利用者の方の検討もを行い、設のあり方の検討もを行い、令和5年度に指定管理者を選定、令和6年度当初からの指定管理への移行を考えています。

Q フジサイクルゲートの適正な運営は A 施設のあるべき姿を検証し、必要な施策を進めます

Q 現在は観光協会に業務委託を行い運営している。限られた建物の中で、観光案内のほか、軽食や物販など多種多様な業務を行っているため、どの業務も中途半端な感がある。

A 条例を先行して制定したがそれが足かせになっているのではないかと疑問である。指定管理を目指しているとのことであるが将来像が見えてこない。今後の詳細な計画を伺う。

かつて地元商店会の協力を得て運営したこともあったが収支が見込めないことから撤退した経緯

A 町長

施設の設置及び管理に関する条例の目的である駿河小山駅を利用する町

民や観光客の利便性の確保や良好な休憩の場、鉄道・観光情報を提供する施設としての機能は浸透しつつあるが、整備の大きな目的の一つであるサイクルツーリズムの拠点機能としては、効果は十分ではありません。

現在拠点施設としての活用を図っていますが、拙速に指定管理へ移行を

急ぐことなく、スポーツツーリズムを推進する町として庁内や民間からの意見も伺い、施設のあるべき姿を検証しつつ、必要な施策を進めます。



一般質問
(一括)

伊根町行政情報配信システム「いねばん」の概要図



YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



室伏 勉
(新生会)

京都府伊根町のネットワーク回覧板「いねばん」

Q DXにおける情報共有について
A 電子回覧板等について、研究を進めていきます

日本の人口は少子高齢化に伴い、生産年齢人口は59・4%と過去最低であり、本町においても2030年の人口予想は、16,500人で2020年度対比9・3%の減少である。

◎ 町の紙媒体による情報発信の考えを伺う。

◎ 舟屋で有名な京都府伊根町は全世帯にタブレットを配付、ネットワーク回覧板「いねばん」を運用している。また全国多くの自治会で、電子回覧板アプリを積極的に活用している。このタブレット及びアプリによる情報の共有、提供に対する考えを伺う。

この少子高齢化による地域コミュニティの衰退は、行政と自治会(区)間の「情報の伝達」に制度疲労を起こしており、「情報共有」の新たなツールとして、DX(デジタルトランスフォーメーション)の進展、活用に大いに期待がよせられている。

◎ 企画総務部長

紙媒体による情報発信については、現在、SDGsや紙減量、区役員の方々の負担軽減の観点から、配布物の削減を検討中です。情報提供のデジタル化についても検討中ですが、当面の間は紙媒体による情報提供も必要と考えます。

こうした中、町からの情報発信の主体は、月2回の紙媒体での配布及び回覧であり、高齢化の進んだ戸数の多い自治体ほど大きな負担となっている。

◎ 企画総務部長

全世帯にタブレットを

配布すること、電子回覧版を活用することは、効果的に情報を伝達する手段として大変有効であると認識しています。一方、全世帯へ配布する端末や通信環境の整備に係る費用、維持管理に係る費用が高額になることが予想されます。また、高齢者などに対し機器の操作方法等を教えるための人的支援が必要となることなど、課題は多くあり、今後も研究を進めます。

◎ DX推進に大きく貢献する、タブレット、アプリ活用の、町の人的支援、導入、ランニングコストに係る見解を伺う。

◎ 企画総務部長

全世帯へのタブレット配布については、他の自治体で費用の全額に緊急防災・減債事業債を活用しています。既に町では

同事業債を活用し、同報無線のデジタル化による戸別受信機の更新を進めており、財政の面から考えると、これらの整備と起債の償還が完了し、耐用年数が経過した後であれば、新たな投資は難しいと考えます。

◎ 企画総務部長

導入の際には、機器の操作支援などマンパワーも必要となることから、支援業務の委託なども検討を行い、DXを前提とした業務の棚卸等の早急な実現を目指し、進めていきます。



一般質問 (一括)



藪田 豊造

YouTubeにて
議会の様子が
ご覧頂けます



企業の立地が進む新産業集積エリア

Q 『町長の政治姿勢と町行政のあり方』について A 町の発展と町民の幸福度向上について

昨年9月湯船原新産業集積エリアより塵が出て

契約に則り町費より1485万円が今年7月25日に支払われた。さらに今年10月には新しく出た塵の処理費用を町が負担し

なければならない。それらは今後とも続くと思われる、それによる処理費用は全て町費からの負担である。こうした他にも職員の不適切な事務処理、会計処理など綱紀の乱れも指摘されている。こうなった原因について問う。

Q 当初、前町長らの罪について問う姿勢であったが、どういう理由で変節したのか。

A 町長

業務検証委員会の検証結果報告において都度議会や町民への説明、報告を行わなかった等、前町長の政治責任は重いもの

の損害賠償責任を追及することは難しいとの結論に至り、前町長に対し損害賠償責任を追及しないことは検討の結果であり、変節はしていません。

Q この事業と町長の変節において、町民にとってどのようなメリットがあるのか。

A 町長
本事業は町の重要施策であり、早期企業誘致を図ることで、産業振興や雇用、定住人口や交流人口など財政面でも町民に多大なメリットを享受できるものと考えます。

Q 新たに出た塵の処理費用は全て町費、すなわち町民の負担である。これらは町長の不作為が招いたことではないが、30億円もかけて令和2年の安全宣言とは何だったのか。

A 町長

今回の事業発生などを受け、部局長連絡会等において、管理職職員に対し再発防止の徹底及び公務員として遵守すべきルール等について全職員に指示しました。

一般的には、改正前民法に売主の瑕疵担保責任が規定されており、特約等がない限り、将来、瑕疵が顕在化した時には売主が瑕疵を負担することとなるというのが弁護士の見解であり、事業協力者との土地売買契約書及び代物弁済契約書の規定により適切に処理を行ったものです。

Q 一度つまづいたら限の無い負担を強いられる事業がある。どのような解決策があるのか。

A 町長
今回の事業発生などを

町長等政治倫理条例及び職員倫理条例を制定し、全職員が公務員としての倫理を遵守するよう努めていきます。

Q 町の主要政策事業ならば、多少の違法性を認められるのか。

A 町長
町長等政治倫理条例及び職員倫理条例を制定し、全職員が公務員としての倫理を遵守するよう努めていきます。

Q 残る任期いかなる信条で全うするのか。

A 町長

町の発展と町民の幸福度向上を目指し、引き続き取り組んでいきます。



わたし



町民の皆様にお勧めしたい、町内のここぞと思う場所を紹介いたします。



サンショウバラの群生地

世附峠とサンショウバラの群生地

富士箱根トレイルのなかでも、不老山登山日帰りコースの中継地として、世附峠は首都圏からのハイカーには大変人気であり、四季を通じて多くの方が訪れる場所です。サンショウバラはハコ

ネバラとも言われ、この地方の固有種であり、世附峠から峯坂峠にかけて群生地があり、毎年5月下旬から6月にかけて開花を目的に多くの方が訪れています。

特に世附峠から峯坂峠間の「樹下の二人」と言われる付近では、相模湾方向から駿河湾方向、さらに富士山、丹沢山稜まで見渡せる景観が良く、休憩場所に適しているため人気の場所です。

以前、文筆家の徳富蘇峰氏は、山中湖畔に静養



世附峠

した際に、籠坂峠から三国山稜を縦走し、度々この場所で休憩されたと聞いています。四季を通じ風景を楽しめ、一度は訪れたいベストスポットです。

(紹介者 岩田 治和)

議員研修報告

10月3日から全議員による県外視察研修を行いました。

最初に訪れた山口県周南市では、市内の化学工場で、生産量日本一と言われる苛性ソーダ、塩化ビニルモノマーなどの副生成物である水素を取り出し、それを利用し脱炭素化を図る取り組みをしています。水素をエネルギーとして電気に変え、工場、車あるいは役所などに配っています。

議会県外視察研修

水素の利活用・基地対策・姉妹都市

次に訪れた岩国市は、

基地の町です。米軍、民間機などの離着する滑走路があり、また米軍艦船なども停泊します。騒音対策や、日米地位協定など様々な問題解決に取り組みながらも、民生安定事業に積極的に取り組んでいます。その一環として、スポーツ施設は特に充実し、積極的に利活用されています。また災害対策として耐震性貯水槽もあり、利用方法について実演していただきました。

た。

最後に姉妹都市である岡山県勝央町です。町長をはじめ全議員が出席していただき、意見交換を行いました。勝央町は果物や野菜などが特産品であり、また工場誘致にも積極的に取り組んでいます。金太郎が縁の姉妹都市も今年で49年目、50周年となる来年の取り組みなども話し合いました。今回の視察研修を町の更なる発展のために活かしていきたいと考えます。



岩国市の耐震性貯水槽

(記 蘭田 豊造)

12月定例会の開催予定

11月29日【火】

開会
町長提案説明

12月2日【金】

一般質問

12月5日【月】

一般質問(予備日)

12月7日【水】

総務建設委員会

12月8日【木】

文教厚生委員会

12月14日【水】

閉会

委員長報告・
討論・採決等

いずれも、開会時間は10時の予定です。

決定次第、無線放送でお知らせします。

議会の傍聴について

9月定例会では、席の数を半分にし、検温、マスク着用のおえ傍聴を可能としました。

12月定例会につきましては、新型コロナウイルスの感染状況等踏まえながら、直近の議会運営委員会にて決定いたします。

決定した事項は、無線放送やホームページでお知らせいたしますので、ご理解、ご協力よろしくお願いたします。

編集後記

小山町のデマンドバスがDigger田甲子園全国ベスト4を受賞致しました。これもひとえに役場関係者の皆さまの並々ならぬご尽力と、日々ご利用くださる町民の皆さまの支えがあったからこそです。誠にありがとうございます。

このようなDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用は社会情勢的にも、今後更に推奨され本格的に生活に取り込まれていきます。

新しい技術がもたらす恩恵により、誰もが住みやすい町となれるよう、議会も役場と共に協力し合い取り組んでまいりたいと思えます。

(記 小林 千江子)

《編集委員》

- 委員長 佐藤 省三
- 副委員長 小林 千江子
- 委員 岩田 治和
- 委員 池谷 弘
- 委員 蘭田 豊造
- 委員 鈴木 豊